

新型コロナウイルス感染症に関する 最近の動向について

2021/1/13
日本医師会
定例記者会見資料

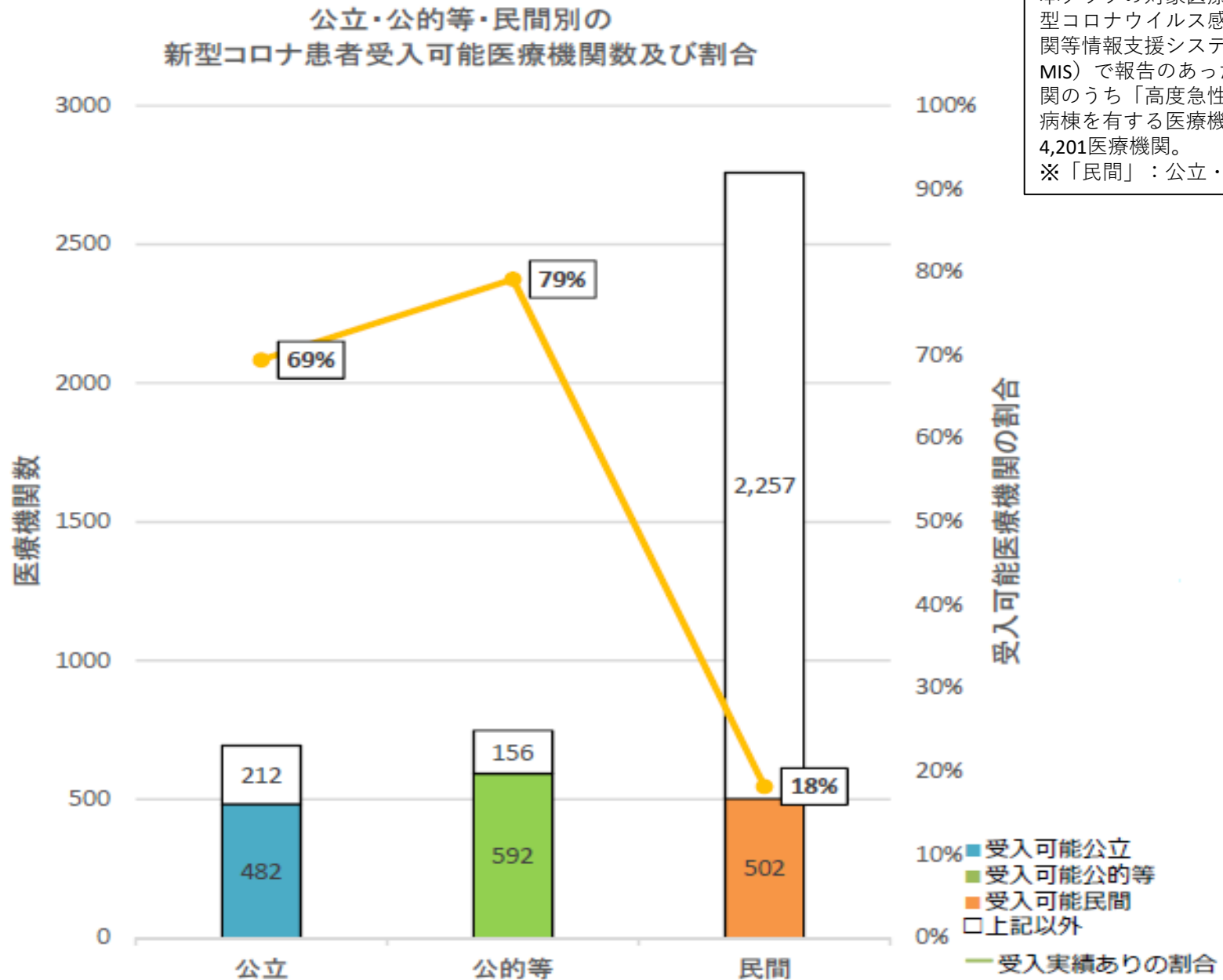
このままでは医療崩壊から医療壊滅へ

医療崩壊

必要な時に
適切な医療を提供できない
適切な医療を受けられない

医療壊滅

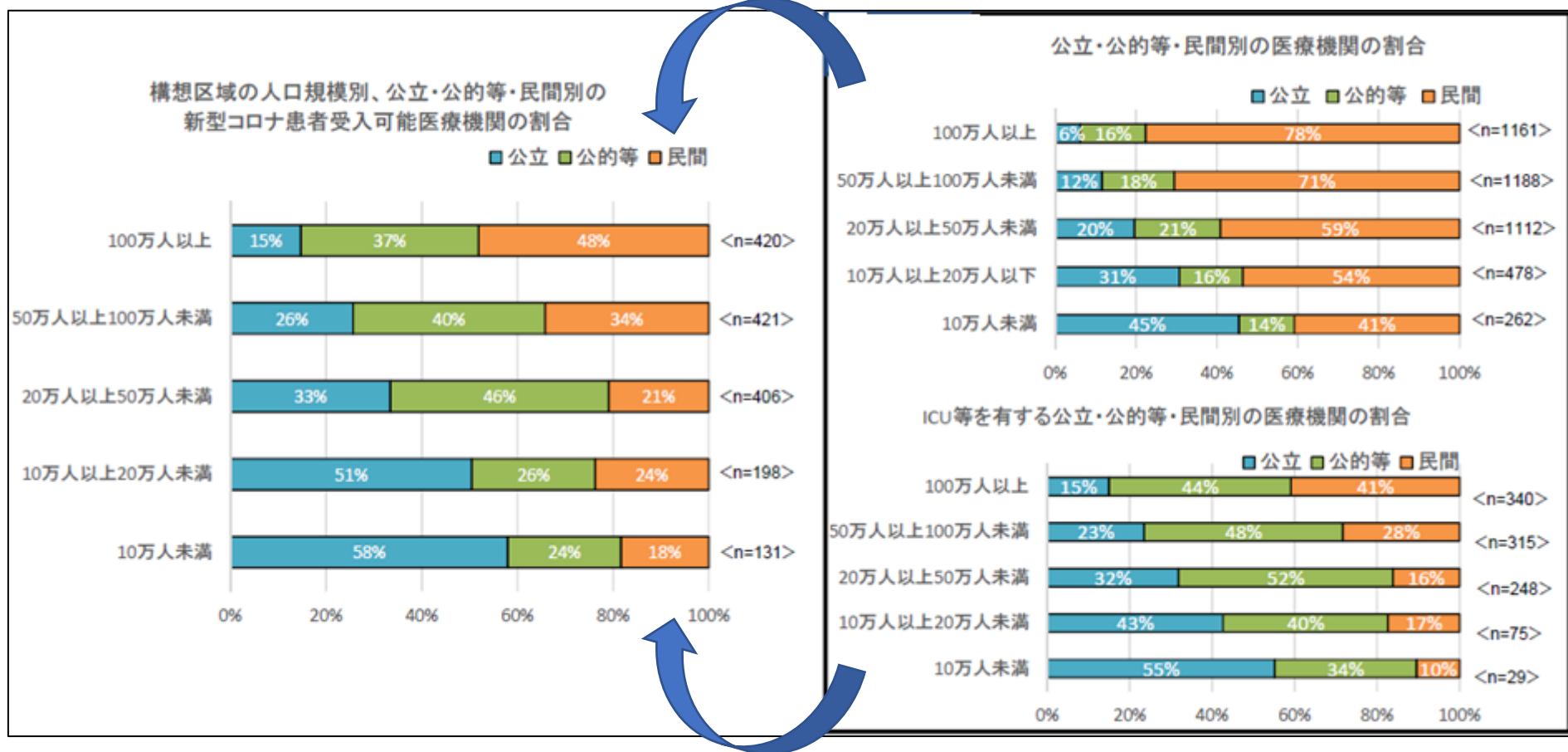
必要な時に
医療自体を提供できない
医療自体を受けられない



新型コロナ患者受入可能医療機関の割合には、 人口規模やICU等の設置状況が反映される。

民間病院の割合は、もともと数が少ない地方では低いが、都市部では高くなる。

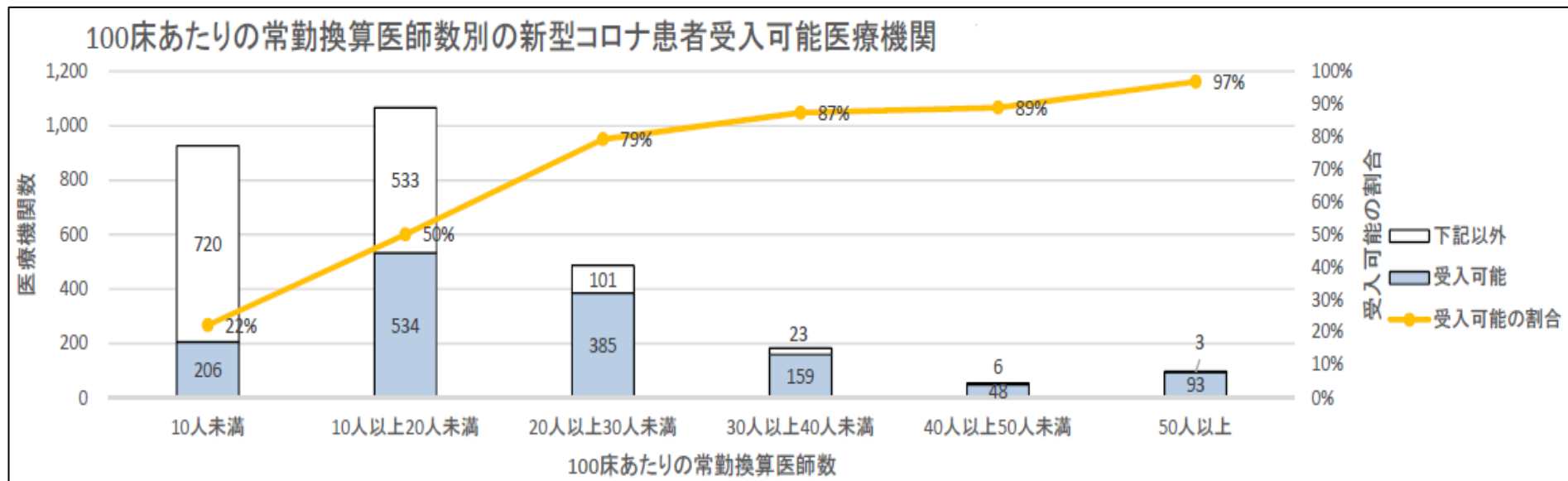
また、民間病院はICU等の設置が少ないことも、受入可能医療機関の割合が低い一因といえる。



新型コロナウイルス患者受入可能医療機関は、 常勤医師数が多い傾向にある

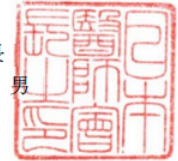
比較的医師数が少ない民間病院は、新型コロナウイルス感染症患者の後方医療機関、新型コロナウイルス以外の疾病への対応を担う。

厚生労働省「医療計画の見直し等に関する検討会」第27回地域医療構想に関するワーキンググループ（2020年10月21日）資料を改変



都道府県医師会
会長 殿

公益社団法人日本医師会 会長
中川 俊男



新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の更なる確保について

今般、厚生労働省医政局長並びに健康局長より、本職に対し、事務連絡「新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の更なる確保について（協力依頼）」が发出され、本会に対し協力依頼がありました。

(略)

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、行政と連携し、病床が逼迫している地域における更なる受入病床の確保についてご検討いただきますようお願いいたします。また、貴会管下関係医療機関への周知につき、ご高配のほどお願い申し上げます。

日本医師会より、各都道府県医師会に対し、行政と連携し、病床が逼迫している地域における更なる受入病床の確保を検討するよう要請

令和3年1月7日付
日本医師会長宛 厚生労働省医政局長・
健康局長連名事務連絡（抜粋）

各都道府県に対して地域で必要な医療提供体制を確保するよう依頼しているところですが、貴会におかれましても、
（略）病床が逼迫している地域における更なる受入病床の確保について、貴会会員各位へ御依頼いただきますようお願いいたします。